

高懸念物質（SVHC）を含む可能性がある 消費者用品に関する情報を公開 ECHA



欧州化学品庁(ECHA)は3月5日、EU市場での高懸念物質を含む可能性のある消費者用品の情報を初めて公開しました。公開されたデータは、SVHC候補リスト中の53物質に対して、企業よりECHAへ届出及び登録する際に、提供された情報に基づいて取りまとめたものです。

これまでに受けた届出の過半数は、候補リストにある4つのフタル酸エステル類に関連しています。これらの物質は通常、プラスチック製品中に含有しています。例えば、ケーブル、バッグ、包装材料、防水衣類やPVC床材になります。二番目に多い届出は、臭素系難燃剤(HBCDD)に関連しています。この物質は、建設や建築の分野で断熱のためのプラスチックパネルなどで使用されています。また、包装に使用される発泡スチロールや電子機器のプラスチック筐体にも使用されています。

また、これについては単に、これらの物質を含む可能性があることを示したもので、すべての製品において、これらの物質が含まれていることを意味するものではありません。同様に、リスト内で見つけられなかった製品についても、これらのSVHCが含まれていないことを意味するものではありません。

当社は、REACHに関する有害物質の分析も行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2012年3月5日付 Press release ECHA/PR/12/06

環境分析部 白亜力

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

放射性物質の測定を開始しました!

福島第一原発事故を受け、高まる需要にお応えし、放射性物質の測定を開始しました。サーベイメータによる工業製品の表面汚染や、水・食品などの放射能測定、さらに8月末からはゲルマニウム半導体検出器を用いた核種ごとの精密測定も開始しています。

お問い合わせはこちら